

## サプライチェーン研究会 2012 年度 第 2 回会合 (議事録)

### 1. 会合概要

- (1) 開催日時：2012年7月25日(水) 18:00 ~ 20:00
- (2) 場所 所在地：富士通総研 本社事務所 (ニューピア竹芝サウスタワー) 11F  
会場名：来賓E
- (3) 今回の議長役：吉田
- (4) 議事録作成者：阿部
- (5) 出席者 (敬称略)：麻生、小友、金井、廣本、小山、佐藤、橋本、前田、森、吉田、阿部  
欠席者 (敬称略)：伊藤、奥村、久野、寅屋敷、永木、服部
- (6) 主要な決定事項
  - ① サプライチェーン研究会 (2012 年度) の座長を吉田とする。
  - ② モデル企業 (サンプル) として一般的な組立製造のサプライチェーン構造を作成する。()
  - ③ 次回の会合に、サプライチェーンを問題なく推進するための課題を各自持ち寄る。
- (7) 次回開催予定
  - ① 開催日時：未定 (2012年8月27日の週で検討)
  - ② 場所 : 開催日時が決定次第、通知する。
- (8) 配布資料
  - ① 前回議事録 (20120614 開催:第1回サプライチェーン研究会) (阿部)
  - ② サプライチェーンの中断に備えた事業継続戦略 (小山)
  - ③ 事業中断多発社会における事業継続計画のあり方 (小山)

### 2. 議事内容

#### (1) 勉強会の進め方について

- ・第1回の研究会でのテーマを各々3回程度の議論を実施していく。  
来年の5月をターゲットに月1回程度の会合を開催した場合に、3テーマであれば1テーマにつき3回程度と考える。

#### 【第1回研究会でのテーマ】

##### 1. サプライチェーンモデルの事例研究

- ーサプライチェーンモデルにおける課題とは何か
- ーTier3,4に対して情報開示を求めることをどう考えるか

##### 2. サプライヤに対するBCM調査 (アンケートについて)

- ーサプライヤに対するアンケートによる調査で何をどう評価するか

##### 3. 国/業界での対応

- ー個社で考えることには限界があり、業界内で利害関係を抜きにした考えの検討が必要ではないか⇒国としての対応 (対策) が必要な課題の検討

- ・本日から3回程度で、「1. サプライチェーンモデルの事例研究」を議論する。

(2) サプライチェーンモデルの事例研究について

- ・事例として標準モデルがあって、その標準モデル（例えば、製造業とか流通業）に対し、研究して教科書的なアウトプットを作成していくのか  
⇒標準としてのサプライチェーンモデルはない。
- ・うまく推進しているサプライチェーン、そうでないサプライチェーンというのはどういうものか。  
⇒何をもってうまく推進しているというのか難しい。業界によっても違うし、その要因も様々である。
- ・理想的なサプライチェーンとは。  
⇒各社各様に最適化したサプライチェーンとなっている。そのため、これが理想だというのは難しい。我社には理想だが、他社では理想と違う可能性がある。
- ・このテーマを考えるとときには、理想的なサプライチェーンとは誰にとって、理想的かを考える必要がある。
- ・まず、一企業でのサプライチェーンを基本として考える。この企業をモデル企業とし、具体的な議論を実施する。  
⇒一般的な組立製造のサプライチェーンモデル（PC、携帯電話など）を作成する。  
今回は、富士通総研の吉田と阿部にて、作成する。

以 上